

行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	海外邦人新型インフルエンザ対策費	担当部局庁	領事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度(新規)	担当課室	海外邦人安全課	課長 一方井 克哉				
会計区分	一般会計	施策名	領事業務の充実					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第9項	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新型インフルエンザの発生を想定し、医療事情がよくない国・地域に在住する在留邦人に対する有事の際の緊急支援用として、我が国の在外公館に抗インフルエンザ薬を備蓄する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	外務省としては、110万人以上(平成21年10月現在の在留邦人数統計)に上る海外在留邦人及び年間1,660万人余り(日本政府観光局による平成22年年間邦人出国者統計)に上る海外短期渡航者の保護が重要な任務。 新型インフルエンザ発生時、医療事情の悪い国や地域に邦人が残留を余儀なくされた場合、現地医療機関等に十分な抗インフルエンザウイルス薬の備蓄が見込まれないこと、また、現地医療機能の麻痺に伴う現地社会の深刻な混乱が発生することなどを想定し、拠点となることが想定される在外公館に、抗インフルエンザウィルス薬(平成17年補正予算で10万人分、平成20年補正予算で22万5千人分のタミフルと3万2千5百人分のリレンザ)をそれぞれ備蓄済みであるが、平成17年補正予算で購入・備蓄した10万人分のタミフルの使用期限が2012年(平成24年)7月に迫っていることから、右に充当するタミフルの購入及び使用期限切れとなるタミフルの廃棄処分等に係る経費を要求するもの。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	—	—	—	—	35	
		補正予算	682	—	—	—		
		繰越し等	0	—	—	—		
		計	682	—	—	—	35	
	執行額	619	—	—				
	執行率(%)	91	—	—				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	平成20年度補正予算により、途上国在留邦人数及び全短期渡航者数の約半数分(約50%)の備蓄を達成。今後は、国内の指標に則し45%備蓄を目指す。		成果実績	人分	326,890	—	—	239,000
			達成度	%	約50%	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	24年度中に100,000人分のタミフルが使用期限を迎えることから、備蓄率45%を踏まえた相当補充(14,000人)分を要求。備蓄そのものを一事業としており、今後必要に応じ、補充・更新を行う。		活動実績 (当初見込み)	人分	326,890	—	—	239,000
				%	約50%	—	—	
単位当たりコスト	2.48 (千円/人)		算出根拠	34,794千円/14,000人分				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	タミフル購入費	—	27,680	平成20年度に一定の備蓄を了して以降、薬品入れ替えと予算要求は不要となっていたが、今般、使用期限を迎える薬品があり、この分の更新経費を要求するため新規要求するもの。				
	輸送料(本省分)	—	1,129					
	タミフル廃棄費用	—	945					
	輸送料(在外分)	—	5,040					
計	0	34,794						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	パンデミック宣言時における最悪の事態（海外在留邦人のすべてが現地残留を余儀なくされる場合）とその際の需要を想定した量の抗インフルエンザ薬（タミフル）の備蓄を実現する必要あり。優先されるべき事業と考える。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	抗インフルエンザ薬（タミフル）の本邦販売代理店は限られており、提示価格は他の競争を許さない状況。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1. 近い将来の発生が世界的に危惧されている新型インフルエンザは非常に高い致死率が見込まれているため、在外邦人用タミフルの備蓄は外務省の主要任務の1つである海外における邦人の生命の保護のために必要。		
	2. 新型インフルエンザ発生が危惧されている中で、政府としてタミフル備蓄目標を国民の45%分としている。外務省としても、これまで医療事情の悪い国・地域の在外公館にタミフルを備蓄してきたが、一部が平成24年7月に使用期限を迎えることを踏まえ、本件予算で補充することによりそれら国・地域の邦人の45%分の備蓄量を維持する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			